

2024年9月吉日

代表理事 大浦紀彦

AAAでは、毎月第1木曜日にcase study club（症例検討会）をzoomで開催しています。

2024年9月12日（木）19時より、zoomで開催いたします。

case study clubの記念すべき50回のテーマは、「小児の足と靴を考える」です。糖尿病性足病変の患者さんを毎週診察をしていると、靴の履き方がめちゃくちゃなことが多い。靴の紐をしっかりと締める、とか、脱ぎ履きする度に靴紐を緩めて、縛りなおすとか。そもそも教育されていないです。現在の教育現場でも、たとえば幼稚園で、靴の履きかたを教えるか という機会がない。また小中学校の指定靴が紐の靴ではなく、スリッポンタイプのものであったりします。兄弟で靴のおさがり というのも今でもあります。

子供用の靴は機能というより、アニメのキャラクタがついていたり、脱ぎ履きしやすさが優先されていたりと、販売されている靴にも問題があります。日本フットケア足病医学会では、小児の足靴委員会で、これらのことに対して改善するにはどうしたらよいか話しをしてきました。昨年、「小児靴の手引き書2023」を発刊しました。今回は、小児の足に詳しいお二人の先生をお招きして、小児の足と靴についての問題点と解決法についてディスカッションいたします。

開催日時：2024年9月12日(木) 19:00-21:00

参加費 無料

### 【パネリスト】

日独小児靴学研究会 共同代表  
足と歩行の診療所 蒲田院 院長

伊藤笑子先生  
吉原 正宣先生

参加申し込みは右QRコード  
または下記URLより登録してください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_cqWt\\_ShKShi0UYZSVy6OnQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_cqWt_ShKShi0UYZSVy6OnQ)



### Theater - Act against Pressure Injury



HOME マイページ 学会について 学会誌 学会集會等 認定制度 フットケア研修

#### ●小児靴の手引き書 2023

一足病予防は小児期から—  
生まれてきた子どもたちが歩き始めた時から、将来の日本人の足を守っていきたく、医学的・学術的に正確な知識を元に、今まで明らかにされて来なかった小児靴の選択指標となりますよう『小児靴の手引き書』としてまとめました。一般の方から教育・医療の現場の皆様まで、広くお役立てください。

#### 【事前購入希望調査】 増刷予定：2024年夏頃

ご好評に伴い増刷を予定しておりますが、購入希望数を調査のうえ増刷数を検討いたしたく、ご協力くださいますようお願いいたします。 購入予約ではございませんので販売開始後に改めて購入申込をいただく必要がありますが、今回登録いただきましたメールアドレス宛てに販売開始の際にご案内させていただきます。

[購入希望調査入力フォーム](#)

日本フットケア・足病医学会事務局 E-Mail: [info@jfcpm.org](mailto:info@jfcpm.org)

